

平成23年12月27日  
独立行政法人  
日本原子力研究開発機構  
敦賀本部

新型転換炉原型炉施設廃止措置計画認可申請書に記載された放射性物質  
量の評価結果等に係る誤りの有無の調査結果の報告について

当機構は、原子力安全・保安院からの「廃止措置計画認可申請書に記載された放射性物質量の評価結果及びその結果を用いた全ての安全評価に係る解析計算の入力データに係る誤りの有無の調査について」の指示<sup>\*</sup>を受け、「新型転換炉原型炉施設廃止措置計画認可申請書(平成20年2月12日付け認可)」について、調査を進めてまいりました。

今般、これらの調査が終了したので、本日、調査結果について原子力安全・保安院に報告しました。

廃止措置計画認可申請書に記載された評価結果及びその結果を用いた安全評価等に係る解析計算の入力データについて誤りの有無を調査した結果、11項目の誤りが確認されました。

この入力データの誤りにより廃止措置計画認可申請書の本文及び添付書類に記載の数値が変更となりますが、平常時や事故時の被ばく評価の結果が、関連する指針等に定められた目標値や基準値を十分下回っていることに変わりはなく、安全評価上問題のないことを確認しました。

なお、今回の誤りに対して、原因の究明及び再発防止策を検討して別途報告することとしています。

※ 平成23年9月9日付 原子力安全・保安院からの指示内容(概要)

他プラントの廃止措置計画認可報告書における計算データの入力誤りを踏まえ、新型転換炉原型炉施設の廃止措置計画認可申請書に記載された放射性物質量の評価結果及びその結果を用いた全ての安全評価に係る解析計算の入力データに係る誤りの有無を調査し、その結果を平成23年12月28日までに報告すること。

別紙：廃止措置計画認可申請書における入力データの誤りについて

以上

# 廃止措置計画認可申請書における入力データの誤りについて

